

オープンセミナー

ふくしま
プライド。

主催 福島県

「ふくしまプライド。」県産農林水産物

一般公開研修

営業力強化セミナー

参加事業者募集

福島県では、県産農林水産物を取り扱う生産者・加工事業者等と、新たな食材調達先を模索している首都圏等の流通、小売、飲食、宿泊事業者などの流通事業者をつなぐため、最新の市場動向、流通事業者への営業活動に役立つノウハウやスキルに関するセミナーを実施します。興味のある方はどなたでも参加できますので、この機会にぜひお申し込みください！

オープンセミナー

日時

令和7年 **6月11日(水)**
15時～16時30分

開催

WEBセミナー
インターネット上での開催です
パソコンが苦手、WEBの利用に不安、
といった方には事務局スタッフがサポート!!

対象

福島県産農林水産物及び、その加工品を取り扱う
生産者・加工販売事業者等

参加費

無料

応募締切

令和7年 **6月4日(水)** 17時まで

応募方法

専用フォームからご応募ください
詳しい応募方法は裏面をご確認ください

講師紹介



農畜産物流通コンサルタント
農と食のジャーナリスト

新渡戸文化短期大学
フードデザイン学科長

山本 謙治 氏

日本の食の今後の展望と 福島の食が目指すべき道とは

コロナ禍を契機に、日本と世界の食のあり方は大きく変容しました。為替を背景にしたインバウンドの激増と日本の観光国化が進み、内需型の食消費のあり方から、インバウンドを無視できない外需を含めた構造へと変容しつつあります。また、食のコストが総じて上がり、食品メーカーから外食産業まで値上げラッシュが続きます。平成以降、変動のみられなかった食の価格が、ようやく値上げ基調に転じる状況となりました。この状況で、原材料を供給する農林水産業も価格上昇の恩恵にあずかることができるのか。令和の米騒動も収まりを見せない現在は、これまでの食に対する常識が通用しない、大きな転機と考えてよいでしょう。このように、食をとりまく現状と今後の展望を俯瞰しつつ、福島県産食材の位置づけをどのように捉え、動くべきか。マーケティングの視点から皆さんと考えたいと思います。

参加して得られるもの

メリット①

自分たちの魅力を再確認

時代と共に変化していく価値観の中で、自分たちの価値を伝えていくために、現状とこれからのあるべき姿を学ぶ。

メリット②

新時代のノウハウを得て営業力強化に結びつける

世界では急速に環境・人・動物に対する倫理のルール化が進んでいます。明らかに乗り遅れている日本にもエシカル消費の波がきています。倫理的商品が売れる時代がやってくる中、福島が生産者が採るべき戦略はなにかを考えます。

「ふくしまプライド。」県産農林水産物 一般公開研修 営業力強化セミナー

参加申し込みについて

* 時間や内容は変更になる場合があります *

	日時	時間	区分	内容
日程	令和7年 6月11日(水)	15時～16時30分	オープンセミナー	・WEB開催による、営業力強化セミナー

参加条件

- (1) 首都圏等の流通、小売、飲食、宿泊事業者などの流通事業者(バイヤー)へ食材供給を目指す方
- (2) 福島県内に本社、事業所等を置く団体・企業又は個人
- (3) WEBセミナー後のアンケートに協力できること
- (4) WEB環境が整っていること(カメラ・マイク機能付きのパソコン、インターネット環境)

申込期限

令和7年6月4日(水) 17時

申込方法

参加申込

- ① 応募フォームにアクセス

<https://tayori.com/f/f-seminar-ippan-r7/>



応募フォームの必要事項に入力し

内容を送信

をクリックして、申込完了となります

- ② 参加決定の方に、WEBセミナー当日のアクセス先となるURLを事務局より送付いたします

お問合せ

メール: fukushima_pride-2025@prism-no1.co.jp 電話045-401-0911

福島県農林水産物マッチング事業 事務局 (アートオフィスプリズム内) 担当 和久井

(電話受付 平日:10:00～18:00*対応スタッフが不在の場合は折り返しのご連絡とさせていただきます)

主催 福島県農産物流通課